

# 平成29年度全国学力・学習状況調査の結果の分析（中学国語）

学校名 久木中学校

調査結果の概要及び教科の課題等（○良かった点や特徴ある点等 ●課題や改善点等）

<p><b>国語</b></p> <p><b>結果の概要</b></p>	<p>A問題 B問題ともに全国 県と比べて同程度である。</p> <p>B問題については記述式の問題に対する正答率が高い。</p>
<p><b>話すこと</b></p> <p><b>聞くこと</b></p>	<p>○全国・県の平均正答率とほぼ同程度結果でした。</p> <p>○結論にたどり着いた理由として適切なものを選択する 問題は有意に高かった</p> <p>●話の論理的な構成や展開などに注意して聞く 問題は 有意に低かった</p>
<p><b>書くこと</b></p>	<p>○全国・県の平均正答率とほぼ同程度結果でした。</p> <p>○相手の反応を踏まえながら、事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように工夫して話す 問題は国 県より低かった。</p> <p>●目的や意図に応じて材料を集め、自分の考えをまとめる 問題は国県より有意に低かった。</p>
<p><b>読むこと</b></p>	<p>○全国・県の平均正答率とほぼ同程度結果でした。</p> <p>○文章の構成や展開、表現の特徴について自分の考えをもつ 問題は 国より有意に高かった。</p> <p>●文章の要旨をとらえる問題 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する問題に課題がある。</p>
<p><b>伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項</b></p>	<p>○全国・県の平均正答率とほぼ同程度結果でした。</p> <p>○古典には様々な種類の作品があることを知る。は国よりも有意に高い。</p> <p>●文脈に即して漢字を正しくことは有意に国より低いのと同時に無答が多い</p>
<p><b>生徒質問紙</b></p> <p><b>国語に関する質問 71～79</b></p>	<p>○国語の課題で最後まで回答を書こうと努力した生徒の割合が高い。</p> <p>●国語の勉強が大切ではないと思っている生徒が多い。</p>

# 平成29年度全国学力・学習状況調査の結果の分析（中学数学）

学校名 久木中学校

調査結果の概要及び教科の課題等（○良かった点や特徴ある点等 ●課題や改善点等）

<p>数 学</p> <p>結果の概要</p>	<p>○全国・県の平均正答率とほぼ同程度結果でした。</p> <p>○数と式 資料の活用領域については国県を上回っている。 B問題では図形領域が国県を上回っている。</p> <p>●関数領域に課題がある。</p>
<p>数と式</p>	<p>○全国・県の平均正答率とほぼ同程度結果でした。</p> <p>○二つの負の数の和は負の数になることを理解する問題では国県を有意に上回っている。 簡単な連立二元一次方程式を解くことは国県を有意に上回っている。</p> <p>●具体的な場面で一元一次方程式を作る問題では国県を下回り、課題が残る。また無答も多い。記述式の問題は無答率も国県より高い。</p>
<p>図 形</p>	<p>○全国・県の平均正答率とほぼ同程度結果でした。</p> <p>○証明の根拠として用いられている三角形の合同条件の理解は国県を有意に上回っている。</p> <p>●扇形の弧の長さを求める問題では無答率が高い</p> <p>●与えられた模様について、図形の移動に着目して観察し、対称性を的確に捉える問題では国県よりも下回った。</p>
<p>関 数</p>	<p>○全国・県の平均正答率とほぼ同程度結果でした。</p> <p>○一次関数のグラフの傾きと切片の値を基に、<math>x</math> と <math>y</math> の関係を <math>y=ax+b</math> の式で表すことができる問題は 国県よりも有意に上回っている。</p> <p>●関数の意味を理解している問題は有意に国県を下回った。しかも無答率も国県よりも有意に高い。</p> <p>●与えられた表やグラフから必要な情報を適切に読み取る問題では国県より低い。</p>
<p>資料の活用</p>	<p>○全国・県の平均正答率とほぼ同程度結果でした。</p> <p>○範囲の意味を理解しているのは国県より有意に高い。</p> <p>○与えられた情報から必要な情報を選択し、自称に即して解釈することが出来る。問題は国県より高い。</p> <p>●与えられた度数分布表についてある階級の相対度数を求めることについては国県より有意に低い。</p> <p>○資料から必要な情報を適切に読み取る事が出来る問題は国県より有意に低い。</p>
<p>生徒質問紙</p> <p>数学に関する質問</p> <p>問 80～90</p>	<p>○数学の勉強は好きな生徒が国県に比べて有意に多い</p> <p>数学の問題の解き方がわからないときは諦めずにいろいろな方法を考える生徒が多い</p> <p>●数学の授業で学習したことは将来社会に出たときに役立つと思う生徒の割合が低い。</p> <p>数学の授業で公式やきまりを習うときその根拠を理解するようにしている生徒の割合が低い。</p>

# 平成 29 年度全国学力・学習状況調査の結果の分析（生徒質問紙）

学校名 久木中学校

特徴的なことや課題と考えられること等

## <特徴的なこと>

- ・朝食を毎日食べている生徒の割合が高い。
- ・物事を最後までやり遂げてうれしかったことがある経験を持つ生徒が多い
- ・学習塾に通っていない生徒が国県に比べて有意に少ない。
- ・放課後は家以外の場所で学習していたり友達と遊んでいる生徒が国全国に比べて多い。
- ・保護者が授業参観や運動会に来る割合が高い。
- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある生徒が多い。

## <課題と考えられること>

- ・友達と話し合うとき友達の話や意見を最後まで聞くことが出来ない生徒の割合が全国に比べて多い。
- ・ゲームを毎日 4 時間以上行う生徒が国県に比べて多い。
- ・平日 毎日 学習を全くしない生徒が国県に比べて多い。
- ・学校の規則を守らない生徒の割合が国県に比べて多い。
- ・授業やノートへ授業のねらいを書いたり示されたりする生徒の割合が国県に比べて少ない。

# 平成 29 年度全国学力・学習状況調査の結果を受けての学校としての取り組み

学校名 久木中学校

調査の結果を受けて、今後の指導改善に向けて学校として取り組むこと

## <国語>

- ・朝の読書や読書週間などの取組を充実させ、読書指導によりいっそう力を入れる。
- ・公立高等学校入学者選抜問題に漢字の書き取りがなくなったが、漢字の書き取りに関して十分な指導をおこなっていく。
- ・他の人が読んでわかるような文章を書けるように指導していく。

## <数学>

- ・最後まで諦めずに問題を解く力を養成していく。
- ・別の解き方でも正答に行き着くことが出来るような指導を行う。
- ・記述式の問題で解答を他人にわかるように書くことが出来るように指導する。

## <生徒質問紙>

- ・授業の中でグループによる話し合い活動が定着し、その中で生徒たちが考えをまとめ、発表する力を付けてきていることが結果から読み取れる。今後も授業はもちろん、学校行事や「総合的な学習の時間」等において、発表や振り返りなどの活動により一層取り組む。
- ・活動を通して生徒の達成感をはぐぐんでいけるようにする。
- ・授業のユニバーサル・デザイン化と関連させ、授業のねらいの明確化を進めていく。  
今後も視覚情報の活用なども含め、生徒誰にもわかりやすい授業づくりを目指していく。
- ・スマホや携帯電話などの適正な利用の指導をしていく。
- ・地域での活動に積極的に参加させるように指導する。